

2024 年 11 月 25 日

各 位

JX金属株式会社

米国アリゾナ州で半導体材料工場の開所式を実施

JX金属株式会社(社長:林 陽一、以下「当社」)は、米国における半導体用スパッタリングターゲット事業の強化および新規事業の展開のため、同国アリゾナ州メサ市で新工場の建設を進めていました。このたび同工場が竣工し、現地時間の 11 月 20 日、当社の同国現地法人 JX Advanced Metals USA, Inc. (社長:桑原 真砂、以下「JXUSA」) が開所式を実施いたしました。

JXUSA は、当社の主要顧客である複数の先端半導体メーカーが相次いで拠点の新設・拡張を進めているアリゾナ州において、これらの顧客拠点の近接地で半導体用スパッタリングターゲットの加工やカスタマーサービスを行っています。新工場では生産能力を拡張するとともに、最新鋭の設備を導入することで工程の自動化を実現しており、大幅に生産性を向上させています。本年 7 月から試運転を行い、2025 年初頭を目途に本格的な量産を開始する予定です。

開所式は、行政関係者や地元商工会関係者など多くの方々が出席され、当社薄膜材料事業部長の諏訪邊武史から、「米国における最近の IT、生成 AI、モビリティの発展は目覚ましく、新工場から最先端の半導体材料を供給することで、先端半導体産業の一層の発展に貢献していきたい。」と挨拶がありました。続けて、メサ市長のジョン・ジャイルズ氏、メサ市議会議員のスcott・サマーズ氏、アリゾナ州商務局の事業開発担当責任者のデビン・パターソン氏によるスピーチが行われました。

同工場は、既存の同州チャンドラー市の JXUSA の工場と比較し約 6 倍の広大な用地を有しており、引き続き建屋の増築余力が十分にあります。今後、半導体用スパッタリングターゲットの生産能力を顧客ニーズに応じて機動的に拡大するだけでなく、さまざまな半導体材料の生産拠点や新規事業拠点として展開することで、北米における先端事業分野の中心地としていく考えています。

当社は、今後も半導体材料・情報通信材料のグローバルリーダーとして、高機能・高性能な先端素材の開発・供給を通して、持続可能な社会の発展と革新に貢献してまいります。

以 上

<新工場に関する参考資料>

所在地	アメリカ合衆国アリゾナ州メサ市 
敷地面積	約 26 万 m ²



開所式の様子



開所式でスピーチをする諏訪邊武史薄膜材料事業部長



新工場外観写真



新工場上空写真（赤囲みの内側が新工場の敷地）



新工場の自動搬入装置で洗浄工程に運ばれたスパッタリングターゲット